

来週の「売り物」記事はこれ



2013年9月27日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

ホームレス 路上の敗者復活戦

朝刊 29日 (日)



街中の交差点などで、路上生活の人たちがオシャレな表紙の雑誌を高々と掲げ、販売している姿を見たことはありませんか。ホームレスの自立を促す目的で発行されている雑誌「ビッグイシュー」です。現金収入を得ることで、就労へのきっかけをつかんでもらおうというのが狙いです。発祥の地は英国。日本版は2003年に創刊され、今年10周年を迎えます。これまでに1500人近くの人たちが販売に携わりました。そして、



定職に就くことができたのはおよそ150人。自立率は10%。この数字が満足いくものなのかどうかは別として、カンパといった一方的な援助ではなく、「販売」という経済活動を通してホームレス自身の自助力を支援する試みが一定の成果を挙げていることは確かなようです。販売員一人ひとりにはさまざまドラマ、かつとうを抱えています。路上生活がら脱した人、そして再び路上生活に舞い戻ってしまいました人……。彼らの姿を追うなかで、「現代の貧困」を考えます。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

生きる物語

新総合面 10月1日 (月) から全10回

車椅子の小児科医、熊谷晋一郎さん(36) =写真・東京都新宿区=は、出生時に仮死状態となり、後遺症の脳性まひで首から下の体が思うように動かせなくなりました。幼少期に過酷なりハビリを体験し、小学校に進学。東大入学と同時に、故郷の山口県を離れ、東京で1人暮らしを始めます。待っていたのは、それまで両親に介助してもらってきたトイレやシャワーをすべて1人で何とかしなければならぬという困難でした。しかし、家族にしか見せられなかった失禁という「弱さ」を、友達や見ず知らずの人にケアしてもらった経験を機に、世界が飛躍的に広がります。東大先端科学技術研究センター特任講師となった熊谷さんが歩んできた道と、共同研究者でパートナーの女性と生きる今を追います。



亀和田武×中森昭夫

「さらば あまちゃん」対談



日本中に社会現象「アマノミクス」を巻き起こしたNHKドラマ「あまちゃん」が9月28日、放送終了。東日本大震災をどのように描くのか、最後はどのように終わるのが週刊誌上などで大議論になり、あまロス症候群にかかる人が大量に生まれそう。特集ワイドでは7月5日、大ファンを公言するコラムニストの亀和田武さんと中森昭夫さんの「あまちゃん」対談を紹介したが、「あまちゃんが残したもの」について再度語り合ってもらおう。

みんなの「聞き書き」

くらしナビ面 30 日（月）

お年寄りから昔の暮らしぶりや半生などを聞き取り、文章にして残す「聞き書き」。介護現場や病院などで取り組みが始まっています。「心構え」「聞く」「書く」の3回に分け、聞き書き作家にポイントを聞きました。



「日本ワイン」に注目

くらしナビ面 10 月 1 日（火）



国産のブドウで作られた「日本ワイン」への注目が集まっています。ブドウ栽培から醸造まで手がける意欲的なワイナリーが増えており、品質もめざましく向上しています。ブドウの収穫や仕込みの季節、ブームの背景やその魅力を探りました。

ひき肉デコレーションはいかが？

くらしナビ面 10 月 6 日（日）

ケーキや花束のようにデコレーションした、ひき肉の「おかず」作りに挑戦してみませんか。名づけて「ひき肉デコレーション」。レシピ本も登場し、目にも舌にもおいしい一品が手軽に作れます。日々の食卓はもちろん、パーティーなどの料理に加えれば、話題になること間違いなしです。

